

①自宅にて ¹

ルート図

②ルート図

しずおか健康長寿財団が年4回発刊している季節情報誌「すこやか長寿 46号(春号)」(2010月4月)特派員だよりに掲載された望月五郎さんの再びのご登場です。

前回では日本縦断一人旅の様子を取材させていただきましたが、今回は北アルプス劔岳(つるぎだけ)から槍ヶ岳を経て上高地に到着するまでのスリルに富んだ山旅をご報告いただきました。

望月五郎さん(71歳 写真①)は静岡市葵区松野で生まれ育ち、山と川に囲まれた豊かな自然の中で生活されてきました。定年退職後しばらくは登山とは距離をおいていましたが、3年前からハイキングや登山を再始動されました。燕岳や槍ヶ岳、北岳への登山を楽しむ一方、倒木などで荒廃していた故郷の永遠山(とわやま)ハイキングコースの整備に尽力されています。

それでは今年の7月下旬から8月上旬にかけての、北アルプス劔岳から上高地に至る縦走の旅(ルート図②)をご紹介します。

【1日目】スタートは劔岳登山口の番場島(富山県上市町)からです。宿泊先の番場島荘(標高750m)を7:00に出発し、早月小屋には13:30に到着。10kgほどのリュックを背負いながらストック無しで登ります。

【2日目】6:00早月小屋(2,224m)を出発し、早月尾根を経て劔岳山頂(2,999m)を目指します。山頂からは急峻な岩場を下り、劔沢の三つの小屋の一つ「劔山荘」に到着します(写真③~⑧)。



③ 劔岳山頂付近から



④ 険しい岩場



⑤ 劔岳山頂の神社



⑥

⑥ 前劔頂上にて



⑦ 剣沢の剣山荘⁷



⑧ 剣沢に残る雪渓⁸

【3日目】6:15 剣山荘(2,475m)を出発。剣沢を横断(写真⑨)して、別山(2,880m)、雄山(3,003m)へと向かいます。その後は一ノ越山荘へと下ります。



⑨ 剣沢のテント場⁹



⑩ 一ノ越山荘を出発して¹⁰

【4日目】6:30 一ノ越山荘(2,700m)を出発(写真⑩)。獅子岳(写真⑪)を経て、危険な雪渓を通り抜け五色ヶ原山荘に入ります。

【5日目】6:00 五色ヶ原山荘(2,480m)を出発。12:45 スゴ乗越小屋へ到着。途中の雪渓で韓国グループと出会い、写真を撮り合いました(写真⑫)。



⑪ 獅子岳¹¹



⑫ 雪渓で韓国グループと¹²

【6日目】6:00スゴ乗越小屋(2,270m)を出発。北薬師岳山頂を経て太郎平小屋へ。この日も天候は芳しくありませんが、これまでの経路が雲間に見えます(写真⑬)。北薬師岳山頂付近は大岩だらけの難所ですが、足元の高山植物の可憐な花に心安らぎます(写真⑭)。



[13](#)



[14](#)

⑬スゴ乗越小屋を出発して

⑭北薬師岳山頂付近

【7日目】5:30太郎平小屋(2,330m)を出発(写真⑮)。天候が回復し、久しぶりに強い陽射しを浴びました。出発から2時間ほどで花畑の尾根に出ます。遠くに槍ヶ岳が見えます(写真⑯)。この日は登山口の神岡への分岐点を通り、黒部五郎岳の肩に出ます。その後カールを下り、14:30に黒部五郎小舎に到着です。



¹⁵⁻
⑮太郎平小屋出発



¹⁶

⑯花畑の尾根 遠くに槍ヶ岳

【8日目】5:00黒部五郎小舎(2,350m)を出発。三俣蓮華岳(2,841m)付近は眺望が素晴らしく(写真⑰)、登山者の数も増えてきます。11:00には双六小屋に到着です。



¹⁷
⑰三俣蓮華岳付近



¹⁸
⑱槍ヶ岳山荘付近

【9日目】5:00双六小屋(2,600m)を出発。最後の難関、槍ヶ岳への西鎌尾根を進み、10:20に槍ヶ岳山荘に到着しました。山荘前は登山者でいっぱい。ここで昼食を取り、上高地へ下山します(写真⑱)。16:30徳澤園に到着。井上靖の小説「氷壁」の舞台となった有名な宿です。

【10日目】8:00徳澤園を出発(写真⑲)。いよいよゴールの上高地へ向かいます。途中で元気いっぱいの女性登山グループに写真を撮られ撮り合いました(写真⑳)。10:00上高地到着。河童橋は変わらず観光客で大賑わいでした。



⑱ [19-](#)徳澤園出発



[20](#)

㉓女性登山グループと

今回の縦走山旅は直線距離70km、アップダウンを加えれば90kmほどの距離となります。劔岳から槍ヶ岳の急峻な岩場や尖刃の谷道等、想像以上の危険な山旅でしたが、色とりどりの高山植物の可憐な花々や、ハイマツの神秘的な緑、雄大な眺望に癒され、行き会う登山者や山小屋スタッフから頂いた活力は元気の源となり、まさに感謝感謝の日々でした。

※写真③～㉓は望月さんが撮影

名峰アドベンチャー望月五郎さんがこのところ注力されているのは、故郷の永遠山(標高689m)への登山参加者を募集している活動です。永遠山は小学2年生でも登れる身近な山であり、自然との一体感を体験してほしいとの趣旨で、「静岡松野自然塾」の塾長として参加者への指導、アドバイスを行っています。これまでに20名ほどが参加されています。ご興味ある方は下記へお問い合わせ下さい。

静岡松野自然塾 塾長:望月五郎
自宅電話 054-294-1647
携帯電話 090-7049-2445

取材:静岡地区担当 生きがい特派員 竹内 章